

平成 26 年度 支援センターみらい
事業報告

【概況】

6月に法人本部（事務）の事務所移転に伴い、相談支援及びあしすとがセンター（北桜塚）から中桜塚 4 丁目へ移転しました。これは、人員の増加に伴い、事務所が狭隘となったことによるものです。また、法人初の中・長期計画策定にあたり、「利用者満足度」「人材育成」の重点課題について、5月から8月にかけて毎月 2 回分科会を開催し、正職員からの意見聴取を行ないました。各事業の概況は以下のとおりです。

1. 就労移行支援事業所ふつーるは、4 名が一般就労されました。利用者状況は、延べ在籍者数 11 名、入所者 4 名、退所者 6 名（一般就労による退所が 4 名、転居による退所が 1 名、その他 1 名）です。利用者が少ない中ではありますが、一定の就労実績をあげることができたと考えています。新規利用については、相談支援や他機関からの紹介による利用が少しずつ増加していますが、やはり年度途中の利用者確保は、難しい状況が続いています。

2. グループホーム事業では、GH・CH が一元化され、それに伴う夜間支援体制の見直しなどもあり、4 月から 6 月までの支援費が減収となりました（7 月以降は従来通りの夜間支援体制加算を受給）。また、桜塚ホーム 1.2 においては、エレベーターのない高層階にあることや、近隣住民からの苦情に対応するため、同府営住宅別棟の 1 階へ移転しました。人員体制については、年度途中の職員募集では反応が鈍く苦慮しましたが、年度末に求人広告なども利用し募集をかけ、必要人数の確保ができました。

3. 相談支援事業所みらいでは、事務所の移転に伴い、面談（相談）環境が改善され、より利用者に寄り添った支援が可能となりました。利用状況は、計画相談契約件数が 94 件で、徐々に増えていますが、市内全体の計画相談対象者と比較するとまだまだ進んでいないのが現状です。内、法人内の契約が 55 件となっており、約半数の利用者の方の計画相談を受けております。地域移行・地域定着支援における契約はありません。また、今年度より市から委託を受け事業を行ない、自立支援協議会や相談支援ネットワーク「えん」へ積極的に参加し、本市における相談支援の課題について検討を行ないました。

4. ヘルパーステーションあしすとの利用状況は、移動支援が前年度比約 11% 増、居宅介護は 42% 増となりました。増加した要因としては、計画相談において抽出されたニーズを支援に繋がることのできたことに加え、ロコミによるものもありました。今後の課題としてはヘルパーの確保と平日の稼働数向上が挙げられます。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

就労移行支援事業ふつーる

1. 利用者状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

(1) 在籍状況

男性 4 名 女性 2 名 合計 6 名

- ・入所 4 名（在宅 3 名、他就労継続支援事業所 1 名）
- ・退所 6 名（一般就労 4 名、転居 1 名、その他 1 名）

(2) 出席状況(各月初値)

68/240(人) 年間在籍率 28% 出席率 78%

平均年齢 33.7 歳(19 歳から 53 歳)

	4, 5, 6 月	7, 8 月	9, 10, 11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男性	5	5	3	2	2	3	4	45
女性	2	2	2	2	1	2	2	23
合計	7	7	5	4	3	5	6	68

(3) 障害程度

①療育手帳

A	3
B 1	2
B 2	1

②障害支援区分

区分	人数
1	0
2	1
3	2
4~6	1
なし	2
計	6

2. 日課・週間プログラム

【日課】

午 前		午 後	
9:00~9:20	登所・更衣	12:00~13:00	昼食・休憩 (喫茶は 11:30 から交代制)
9:20~9:30	朝礼	13:00~16:00	活動(適宜休憩)
		16:00~16:20	更衣
9:30~12:00	活動(適宜休憩)	16:20~16:30	終礼・降所

【週間プログラム】

	月	火	水	木	金
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃

○マドレーヌ販売…くらしかん（月 2 回）、国際交流センター（月 1 回）

○豊島高校清掃…月 4 回（不定期） ○社会技能訓練…随時

3. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) サービス管理責任者(1) 就労支援員(1) 事務員 (1)

非常勤職員：職業指導員 (1) 生活支援員 (2)

4. 建物・設備維持管理

- ・消防設備点検…6/16、12/25（リタテクニカ）
- ・外壁塗装…9月（家主負担）
- ・害虫駆除…4/17、6/19、8/21、10/16、12/15、2/19（ファシテック広洋）
- ・全館清掃…12/13（ファシテック広洋）

5. 車両管理・送迎管理

【車両管理等】

	キャラバン	ムーヴ
車 検	平成 26 年 9 月	なし

【修繕等】

（キャラバン）

11月 バッテリー交換

（ムーヴ）

9月 タイヤ交換（前輪）

12月 バッテリー、タイヤ交換（後輪）

【車両事故】

9月 利用者送迎中に左前輪パンク。

【送迎管理】

特別送迎

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	2	2	1	1	2	1	2	1	2	0	1	1	16
利用回数	2	2	1	2	5	1	2	3	2	0	1	1	22

ショートステイ（あすなる）や歯科通院などへの特別送迎を実施。
利用者 16 人 年間利用回数 22 回

6. 年行事等

日にち	行事名	行先・場所	参加人数	特記事項
5/17	余暇活動	海遊館	6	ボウリングなど
8/16	余暇活動（納涼祭）	ふつーる内	5	
10/10	スポーツフェスタ	豊島体育館	5	
11/6	宿泊訓練	和歌山（白浜など）	2	
12/20	余暇活動	グランフロント大阪 カラオケ	3	クリスマス
2/21	余暇活動	アベノハルカス 天王寺動物園	5	

7. 健康管理

- ・健康診断：6/19、25 に山口記念診療所にて実施（利用者 6 名）
- ・インフルエンザ予防接種：11/13（利用者 2 名）
- ・厨房業務は月 1 回の検便実施

8. 防災

日にち	内 容	参加人数
7/24	避難訓練（地震）	7
1/28	避難訓練（火災）	7

9. 活動支援の取組み

① 就職（4名）

- 6月…あぶり屋（調理器具洗浄）
- 8月…株式会社 スーパーコート（高齢者施設・洗濯）
- 11月…株式会社 光洋（スーパー商品陳列など）
- 1月…株式会社アニスト（高齢者施設・掃除、配膳など）

② 雇用前実習（3名）

- ・あぶり屋…6/16～20
- ・株式会社 スーパーコート…7/22～29
- ・株式会社アニスト…12/15～26

③ 職場体験（1名）

- ・くらしかん喫茶店（H26.10/1～H27.1/23）

④ その他

- ・社会技能訓練（マナー講座、履歴書の書き方、面接の受け方、就職フェアへの参加など）
- ・喫茶（接客、製菓、出張販売）
- ・企業実習（川瀬彦）
- ・清掃実習（みらい、豊島高校）
- ・施設外実習（水道局敷地草抜き）

※平成26年度売上総額 1,514 千円

内訳：喫茶業務 53%、清掃業務 36%（みらい 10%、豊島高校 26%）

企業内実習 10%、その他 1%

10. 広報・実習

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第5号	4/22	450部
2	第6号	9/20	450部

【利用体験実習】

- ・豊中支援学校 2名 (7/29～31、8/4～6)
- ・園芸高校 1名 (11/17～21)

【体験利用】

- ・在宅 4名 (行政、相談、就労支援センター、精神科等から)

【支援者実習】

- ・みのり 1名 (女性) …9/4・5
- ・とよなか障害者就業・生活支援センター1名 (男性) …3/16～20

11. 苦情対応

- ・施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ面談の場や連絡帳でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
なし	なし	なし

12. 職員研修・会議等**【職員研修】**

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
7/16	施設見学	市内施設長会		かんなびの里	岡本 中島
7/25 ～30	職業支援基礎研修	大阪障害者職業センター		大阪障害者職業センター	入佐
8/27 ・28	サービスマナーセミナー<上級リーダークラス>	大阪社会福祉協議会		大阪社会福祉会館	中島
9/11 ～12	施設間留学研修	市内施設長会		多機能型あすなる	山内
9/19 11/25 2/20	アクトおおさか応用講座	アクト おおさか	発達障害	ドーンセンターなど	入佐

10/17 ～ 11/26	相談支援従事者初任者 研修研修	大阪府社会福 祉事業団		ビッグアイ 大阪社会福祉会館	岡本
10/23	人材育成研修会	施設連絡会		福祉会館	中島
12/18	大阪地域職業リハビリ テーション推進フォー ラム	大阪障害者職 業センター		クラブウビル	中島
2/10	福祉サービス苦情解決 研修会	大阪府社会福 祉協議会		大阪社会福祉指導セ ンター	中島

※その他、法人内研修に3回参加

【会議等】

会 議 名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）
ふつーる会議	12	毎月第3水曜日（センター長、主任、ふつーる職員）
中・長期計画 策定検討委員会	9	毎月1回（理事長、常務理事、名淵理事、各事業所管理者、 各事業所主任）
中・長期計画 策定検討委員会 第1分科会	8	5月～8月の間の毎月2回 （第2みらい施設長、各事業正職員）
中・長期計画 策定検討委員会 第2分科会	8	5月～8月の間の毎月2回 （センター長、各事業正職員）

※その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
サービス向上委員会（主任、他）、個別支援計画会議（主任以下）
自立支援協議会関係会議（主任）

13. その他

- ・緊急雇用創出基金事業の地域人材育成事業を受託
2名の職員を雇用し（来年度8月末限りの雇用契約）、資格取得（介護職員初任者研修）や現場実習などを行い、福祉職員の人材育成を行った。

栗ヶ丘ホーム（共同生活介護・共同生活援助）

1. 利用者状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

（1）在籍状況

栗ヶ丘ホーム：男性 3 名、女性 1 名
末広ホーム：男性 5 名
若竹ホーム：女性 3 名
桜塚ホーム 1：男性 3 名
桜塚ホーム 2：男性 3 名
桜塚ホーム 3：男性 2 名
旭丘ホーム：男性 4 名
桜塚ホーム 5：女性 3 名 合計 27 名

（2）利用状況

栗ヶ丘ホーム：1284/1432（営業日×4名） 利用率 89.6%
末広ホーム：1179/1260（営業日×5名） 利用率 93.5%
若竹ホーム：876/1432（営業日×4名） 利用率 61.1%
桜塚ホーム 1・2：1302/1344（営業日×6名） 利用率 96.8%
桜塚ホーム 3：615/1005（営業日×3名） 利用率 61.1%
旭丘ホーム：600/964（営業日×4名） 利用率 62.2%
桜塚ホーム 5：727/1095（営業日×3名） 利用率 66.3%

2. 職員体制等

管理者 1 名（兼務）、サービス管理責任者 1 名（専任）、事務員 1 名（兼務）

栗ヶ丘ホーム：生活支援員 1 名（月～金）
生活支援員 1 名（土、兼務）
生活支援員 1 名（日、兼務）
世話人 1 名（月～土）
末広ホーム：生活支援員 2 名（月～金）
世話人 1 名（月～金）
若竹ホーム：生活支援員 1 名（月～金）
生活支援員 1 名（土～日、兼務）
世話人 1 名（月～金）
桜塚ホーム 1・2：生活支援員 2 名（月～木または金、兼務）
世話人 1 名（月～木または金）

桜塚ホーム 3：生活支援員 1 名（月、金、土）
生活支援員 1 名（火～木、日）
世 話 人 1 名（月～金）
旭 丘 ホ ー ム：生活支援員 1 名（月～金）
世 話 人 1 名（月～金）
桜塚ホーム 5：生活支援員 1 名（日）
生活支援員 1 名（月、金、兼務）
生活支援員 1 名（火、木、兼務）
生活支援員 1 名（水、土）
世 話 人 1 名（月～金）

計 生活支援員 13 名・世話人 7 名

3. 建物・設備維持管理

栗ヶ丘ホーム：玄関ドア鍵穴修繕、流し台照明修繕、玄関門扉修繕
植木剪定
末 広 ホ ー ム：洗濯機交換、電子レンジ交換、居室引き戸修繕
ふすま修繕、植木剪定
若 竹 ホ ー ム：ガスレンジ交換
桜塚ホーム1：引っ越しに伴う消防設備・水回りなどの工事
桜塚ホーム2：引っ越しに伴う消防設備・水回りなどの工事
桜塚ホーム5：ガスレンジ交換
全 ホ ー ム：消防設備点検（年 2 回）

4. 送迎管理

土曜日の午前中を基本とし、支援センターのキャラバン（10 人乗り）及び第 2 みらいキャラバン（10 人乗り）を使用して、ホームから自宅等への送迎を実施。

運転業務（1 名）を直接雇用し、添乗業務（1 名）をシルバー人材センターに業務委託。

栗ヶ丘・末広：第 2・第 4 土曜日（センターキャラバン）
桜塚 1.2・桜塚 3：第 1・第 3 土曜日（第 2 みらいキャラバン）
旭丘・桜塚 5：第 1・第 3 土曜日（センターキャラバン）

5. 年行事等

各ホーム余暇支援を3回実施。行先は、都度各ホームにおいて利用者と話し合い決定している。必要に応じて、センターキャラバンを使用。

6. 健康管理・給食

【健康管理】

毎朝の検温、各利用者の服薬管理はもとより、排便、排尿の確認など、常に利用者の健康管理に配慮した。また、利用者が体調を崩した際は、ホーム、センター、日中事業所、ご家族等と連絡をとり、早急に対応するよう努めた。

【給食】

夕食・朝食とも世話人が、基本的には当日購入した食材をその日のうちに調理し提供するように努めた。また毎月1ヶ月分の献立を作成し、栄養バランスを考えた食事の提供に努めた。

末広、旭丘、桜塚5については食材宅配サービスを利用し、夕食の提供を行った。献立がある程度決まっているため、世話人の交代などによる食事への影響は少ないと考えているが、他ホームと比べ1食あたり100円ほど食費が高くなっている。

7. 防災

各ホームにおいて地震や火災を想定し、避難訓練を年3回実施した。

8. 活動支援の取組み

各ホームで独自に工夫して取り組んでいる。散歩や買い物に出かけることで運動の機会を提供したり、調理補助や洗濯物干し等、ご自分でできることに取り組んで頂いたり、生活力の向上にも努めた。カラオケやゲーム、テレビ等、余暇支援も行った。

9. 広報活動

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者、近隣住民の皆さんなどに知って頂くことを目的に、2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第8号	5/8	450部
2	第9号	10/6	450部

【地域交流】

栗ヶ丘ホームでは地域のお祭りに参加させていただき、交流を図った。桜塚ホーム5では、月に1回敷地内の公園や団地周辺の定期清掃を行っており(第3日曜日の午前9～10時)、その際近隣の住民の皆さんと掃除を通して交流している。

10. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場合でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	父親より、上着(ロングTシャツ、等)に穴が開いていることが多い。破れないようにしてほしいと要望。【末広】	ネットに入れて洗濯し、乾燥機は使用しないこととした。
近隣住民	この3日ほど、毎日、利用者が自室の窓から、約2時間、自宅内をじっと見ており、10歳の娘が怖がっている。何とかしてほしい。【桜塚1】	謝罪をするとともに、窓の外にあるベランダに遮光シート(内からは外が見えるが、外からは中の様子が見えないもの)を設置。

11. 職員研修・会議等

【職員研修】

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/16	感染症・食中毒予防対策講習会	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	食中毒予防対策	吹田市文化会館大ホール	石原為
7/4	「施設職員の心のケアを考える」講座	大阪府人材支援センター	ストレスの理解とセルフマネジメント	大阪社会福祉指導センター	近藤
9/10	GH事業者連絡会研修	GH事業者連絡会	自閉症の方への支援について	福祉会館	全ホーム職員
11/13	感染症・食中毒予防対策講習会	大阪社会福祉協議会	食中毒予防対策	吹田市文化会館大ホール	笠井

12/5	障がい者虐待防止・権利擁護研修	大阪府		クレオ大阪中央	近藤
2/17	GH事業者連絡会研修	GH事業者連絡会	ホーム支援について	福祉会館	全ホーム職員

・法人内研修に3回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）
ホーム会議	12	毎月最終木曜日（センター長、サビ管）
世話人会議	2	不定期（センター長、サビ管）
中・長期計画策定検討委員会	9	毎月1回（理事長、常務理事、名淵理事、各事業所管理者、各事業所主任）
中・長期計画策定検討委員会第1分科会	8	5月～8月の間の毎月2回（第2みらい施設長、各事業正職員）
中・長期計画策定検討委員会第2分科会	8	5月～8月の間の毎月2回（センター長、各事業正職員）

*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
サービス向上委員会（主任、サビ管、他）
家族会（毎月1回、各ホームにて実施）
自立支援協議会関係会議（センター長）

相談支援事業所みらい

1. 利用状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

・ 計画相談支援事業	契約件数	法人内 55 件 法人外 49 件
・ 障害児相談支援事業	契約件数	法人外 6 件
・ 地域移行、地域定着支援事業	契約件数	0 件

2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) 相談支援専門員 (2)

非常勤職員：相談支援専門員(1) 事務員 (1)

3. 支援内容の一例

- ・ 計画相談支援、障害児相談支援における、サービスの調整
- ・ 相談者の不安軽減の為に、面談の実施
- ・ 施設入所者の方の自費における移動支援事業所の紹介
- ・ 障害基礎年金、難病申請などの申請の支援 など…

4. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2 回発行した。

	号	発行日	部数
1	第 8 号	5/8	450 部
2	第 9 号	10/6	450 部

5. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を 1 名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	計画相談支援の契約をしたが、その後何の連絡もない。どうなっているのか。また、サービスが今後利用できなくなるのではないかと不安を訴えてこられた。	担当者が休職になった為、連絡が遅くなっていた事を謝罪。担当者の変更、受給者証更新前にこちらから連絡を入れる事、サービス利用は変わりなく利用できることをお伝えした。

6. 委託事業

スポーツレクレーション事業（豊中市生活アシスタント事業）

内 容：音楽レクレーション

委託先：NPO 法人ゴールドデンベル

実 績：12回実施（月1回） 延べ参加人数…168人

7. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/10	成 26 年度障がい支援区分認定調査員研修	大阪府		国民會館武藤記念ホール	内海
8/11	精神科医が語る「広汎性発達障がい」の理解と支援	自立障がい者センター	発達障害の理解	大阪府立急性期・総合医療センター	杉浦
8/21～ 9/18	平成 26 年度大阪府相談支援従事者初任者研修（5日間過程）	大阪府障害者福祉事業団		ビッグ・アイ	杉浦
10/17～ 11/26	平成 26 年度大阪府相談支援従事者初任者研修（5日間過程）	大阪府障害者福祉事業団		ビッグ・アイ	岡本

※その他、法人内研修に3回参加

【会議等】

会 議 名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	3	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）
中・長期計画策定検討委員会	9	毎月1回（理事長、常務理事、名淵理事、各事業所管理者、各事業所主任）
中・長期計画策定検討委員会第1分科会	8	5月～8月の間の毎月2回（第2みらい施設長、各事業正職員）
中・長期計画	8	5月～8月の間の毎月2回

策定検討委員会 第2分科会	(センター長、各事業正職員)
------------------	----------------

- *その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
えん全体会（毎月1回）
自立支援協議会関係会議（各会議毎月1回）

ヘルパーステーションあしすと

1. 利用状況（平成27年3月31日現在）

① 平成26年度利用実績

()内は昨年度実績

	移動支援事業		居宅介護事業	
	件数	時間	件数	時間
4月	33 (20)	345.5 (235)	8 (5)	110 (87)
5月	36 (19)	361.5 (227.5)	11 (5)	100.5 (65)
6月	31 (22)	401.5 (275.5)	12 (6)	125.5 (90)
7月	34 (28)	363 (327)	11 (6)	124.5 (57)
8月	31 (28)	362.5 (347)	10 (7)	124.5 (82.5)
9月	32 (24)	339 (294.5)	11 (8)	127.5 (100)
10月	32 (29)	350.5 (319)	10 (8)	133 (84)
11月	38 (31)	301.5 (343)	13 (8)	119.5 (96.5)
12月	38 (30)	369.5 (367.5)	12 (6)	172 (102)
1月	34 (26)	321 (280.5)	13 (8)	119.5 (112)
2月	32 (28)	283.5 (328)	13 (6)	129.5 (64)
3月	34 (31)	333 (345.5)	10 (8)	112 (110)
計	405 (316)	4132 (3690)	134 (81)	1498 (1050)

② 利用契約者数

- 移動支援…62名（昨年度比+5名）
- 居宅介護…25名（昨年度比+12名）

2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1)

非常勤職員：サービス提供責任者(1) ヘルパー (1) 事務員 (1)

登録ヘルパー (51名、昨年度比+9名)

3. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第8号	5/8	450部
2	第9号	10/6	450部

4. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	外出先でパンフレットを持ってかえってくるが、明らかに不必要な物まで持たせて帰ってくる。ヘルパーの分も入っている事がある。また、レシートのない交通費などの詳細が不明。	パンフレットを持ち帰ることで、当日の様子などが確認して頂けると考えていたが、今後は口頭報告や記録用紙でお伝えし、パンフレットは持ち帰らないこととした。レシートのない交通費などは、必ずメモに記載し、おつりと一緒にお返しすることを再度確認。また、今後はヘルパーの指導を再度行っていくこともお伝えし、謝罪した。
ご本人	障害福祉サービス受給者証を返却してもらっていない。ヘルパーが返したと言っているが、受け取った覚えもないし、引出にも入っていない。返却したと言っているヘルパーが探しに来るべきではないか。	ヘルパーが自宅へ訪問。自宅内を探した所、違う引出から受給者証が出てきた。謝罪し、今後は引き継ぎノートに必ず記載する事を伝えた。

5. 職員研修・会議等

【職員研修】

法人内研修に3回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	3	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）
ヘルパー連絡会	1	12/19（センター長、サービス提供責任者、ヘルパー）
中・長期計画策定検討委員会	9	毎月1回（理事長、常務理事、名淵理事、各事業所管理者、各事業所主任）
中・長期計画策定検討委員会第1分科会	8	5月～8月の間の毎月2回 （第2みらい施設長、各事業正職員）
中・長期計画策定検討委員会第2分科会	8	5月～8月の間の毎月2回 （センター長、各事業正職員）

*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
自立支援協議会関係会議（年3回）